

令和5年度 内部統制制度に関する取組報告書（概要版）

ACTION (改善)

【令和6年度取組】

- 財務に関する事務に潜むリスクを所管課で検討、点検する。
- リスクが発生した際はリスク事案発生報告書を作成し、全庁で類似のリスク事案が起きないように共有する。
- 内部統制、その他財務に関する基本的な事務について研修を実施する。
- 管理監督職員に対して職場マネジメント研修を実施し、マネジメント能力向上を図る。
- 人事評価制度を活用して、職場内で業務上の協力、相談ができる環境づくりに努める。
- 現金取り扱い業務研修を実施することで会計事務に関する理解を深め、基本的な事務においてのリスクの発生を防止する。
- 包括外部監査での指摘事項をふまえ、改めて市としての入札・契約に関するルール化を検討し、職員研修を通じて適正な事務が執行できるよう、理解を深めていく。

継続的改善

「泉南市内部統制制度に関するガイドライン」に基づき、財務に関する事務に係る内部統制体制の整備及び運用について取りまとめを行いました。

PLAN (計画)

- 令和4年度泉南市内部統制制度に関する取組報告書を作成。令和5年度取組内容の実施について決定。

CHECK (点検)

- 日常的モニタリング・独立的評価
 - 全庁的な内部統制の整備及び運用の評価…不備なし
 - 各所属での業務レベルの内部統制の評価…不備あり
 - リスク事案発生件数…11件
- 【令和5年度 重大な不備の発生なし】

DO (実行)

◆◆◆気づいた点◆◆◆

- リスク件数は令和4年度の件数（22件）と比較し半数程度に減少した。内部統制制度導入時から研修やお知らせ掲示板等で情報共有を図ってきたことや、リスク事案、報告書の共有等により内部統制制度が浸透してきたことが要因の一つであると考えられる。
- 年度末に実施しているリスクの自己評価において、整備状況の不備の件数が増加しており、各部署でのリスクに対しての意識向上が見られた。
- リスク事案の内容はケアレスミスが依然として多かったが、引継ぎの不徹底やマニュアル整備の不備も散見された。
- 令和5年度の包括外部監査では多くの指摘がなされる結果となり、改めて契約事務に関して適正な事務執行の必要性を認識した。
- 支払遅延防止の取組として行った支払い回数の増加は、全庁的に業務改善として浸透しており、一定の効果があった。

- 全職員を対象とした内部統制・コンプライアンス研修や令和5年3月に改定した人材育成基本方針を研修および庁内掲示板で周知を行うことで職員の意識・能力向上を図った。
- 財務に関する事務に潜むリスクを所管課で検討し、点検した。
- リスクが発生した際はリスク事案発生報告書を作成し、全庁で類似のリスク事案が起きないように努めた。
- 支払遅延を防止する取組として、支払い回数を月3回から毎週1回に増やし、一層法令に準拠した支払い事務を行った。
- 契約事務に関して注意すべきポイントや、他の自治体での不正事案のうち泉南市でも発生する可能性のあるものについて、庁内掲示板において周知し、不正やリスク事案の発生防止に努めた。